# 一貫作業システムによる再造林の低コスト化

## 1. 出雲地区森林組合（出雲市）

【管　　轄】出雲市
（旧出雲市、旧平田市、旧簸川郡内5町）
【民有林面積】 36,071 ha
【設　　立】H10年10月1日に6組合が合併
【従 業 員】57名（組合員 7,632名）
【事 業 量】681,934千円（R5年度）
【業務内容】森林づくり事業、木材加工事業 等

## 2. 取組の経過及び概要

原木の生産(伐採)コストと木材収入だけを比べると収支は黒字だが、**伐採後の再造林に要する経費が負担**となり、森林所有者が意欲的に原木生産に取り組むことが困難な状況。

そのため、原木生産コストの引き下げに加えて、**再造林コストの引き下げ**も併せて実現していくことが必要。

(1)主伐を行う『**まるい林産(株)**』（伐採者）と造林・保育を担う**森林組合**（造林者）で**一貫作業**の**協定を締結**。

**一貫作業とは**

これまで（従来作業）は、伐採後期間を開けて造林者が人力により地拵えを行うため、再造林経費がかかり増し。一貫作業では、伐採者が伐採作業に使用した林業機械で「機械地拵え」を行い、造林者が伐採後早期に植栽を実施することで、**再造林の低コスト化を実現**。
（地拵え・・・残材等を植栽しやすいように整理すること）

(2)協定締結による連携強化

R6年度、国、県による造林補助事業 によりスギ裸苗を 3.64ha植栽。（植栽密度2,000本/ha）

**現場ごとの地拵え状況を確認**し合うなど、伐採者と造林者の連携を強化。

## 3. 取組の成果

**(1)再造林コストの低減**

再造林コスト　（万円/ha）

| | H30 | R5 | R5/H30 |
|---|---|---|---|
| 県平均 | 114 | 100 | **12%ダウン** |
| 出雲 | 105 | 86 | **18%ダウン** |

①伐採者と造林者による事務協議と現場協議を繰り返し行うことで、人員や機械の工程調整が図られコスト低減に寄与。

②伐採者が機械やチェーンソーを用いて残材を細かくすることにより、造林者の作業が人力による刈り払いとレーキ（熊手）による軽作業のみに軽減。

**(2)現場連携による改善意識の向上**

苗木の仮植場所を伐採者の機械で耕すなど、建設的なアイデアが提案され、現場における工夫等、自ら改善する意識が向上

地拵え前（従来、数年後に植栽）

一貫作業による地拵え・植栽後

枝残材などが散乱せず、林内が整理されているため、その後の保育作業を効率的に実施可能。
また、残材による植栽不可の除地面積も減少するため、林地を最大限有効活用。

## 4. 課題と今後の取組方向

(1) 効率よく作業できる環境づくり
一貫作業に係る伐採者、造林者の事務協議や現場協議等を明記した仕様書を作成。

(2)円滑な一貫作業の実施
R7年度より裸苗から**コンテナ苗へ移行**。

＜問合せ先＞東部農林水産振興センター出雲事務所　林業部　林業普及第一課　0853-30-5578